

チャノキイロアザミウマ情報第1号

平成25年5月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生ピーク日の予測

有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月18日～23日です（表1、図1）。本年は、4月中旬以降の気温は昨年より低く推移したものの、春先の平均気温が昨年を上回ったため、チャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク時期は、昨年並か1～3日早いと予測します。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	稲武
第1世代	5/23	5/23	5/18	5/23	5/23	5/19	5/21	5/21	6/13
第2世代	6/18	6/20	6/14	6/20	6/19	6/16	6/18	6/18	7/11
第3世代	7/09	7/12	7/05	7/11	7/10	7/07	7/11	7/09	8/02
昨年の第1世代	5/24	5/24	5/20	5/23	5/25	5/22	5/22	5/22	6/14

注) 各地のアメダス平均気温から予測。

5月15日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。

昨年の第1世代は、昨年の気温（実測値）を用いて計算。

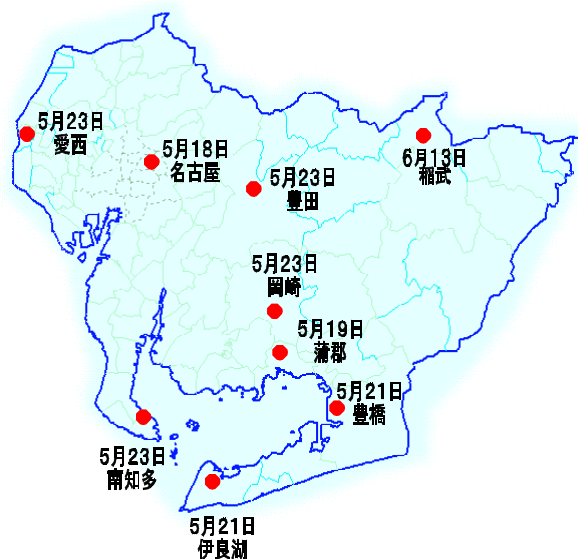


図1 第1世代成虫の発生ピーク予測日

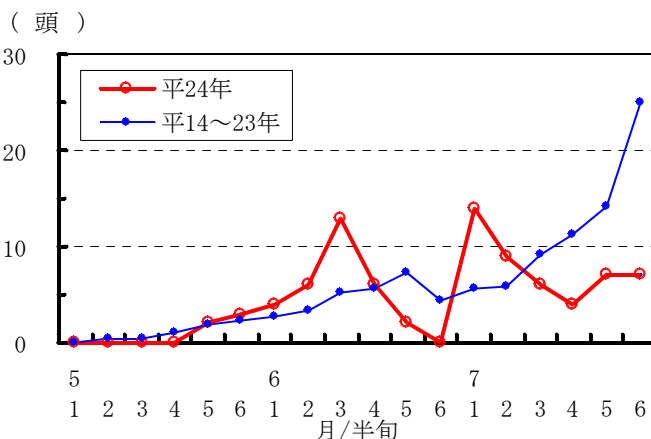


図2 粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの成虫誘殺数（東浦町・ブドウ）

2 防除

ブドウでは、例年5月上旬頃から成虫の飛来があり（図2）、5月下旬から6月上旬に幼虫の発生が見られます。カキでは、開花期頃から成虫の飛来が多くなります。

チャノキイロアザミウマの防除では、初期発生を抑えることが特に重要です。成虫発生ピーク時の農薬散布は、最も防除効果が高いとされています。例年発生の多いほ場では、表1及び図1から第1世代成虫の発生ピーク日を予測し、適期に防除しましょう（表2）。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	モスピラン顆粒水溶剤
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤
カキ	スプラサイド水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤